京城新報

●新聞料 ▲一部二錢▲一ヶ月前金廿五錢●三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 二月十三日
發行編輯兼印刷人 山下 [illegible]
京城西署西小門通
發行所 京城新報社 電話六六三番

日露の將來（中）
（ノーウオエ ウレミャ所載）

米國の移民計畫に挫折せる日本は然らば英國と戰ふ如き事を爲す可きか日本は現今ポリチシャの殖民地の何れかを奪取し或は英人を印度より驅逐せんとするが如き事を思慮す可きか現今の所にては日本は更に斯の如き事を思念せざるなり故に日本は自國の爲に甚だ便利なる協約を以て英國と同盟せり左れば日本は其の視線を英國の領地に向くる如き事なきや勿論なり

清國に於ては英米獨佛等歐洲列國の利害關係大に錯雜し居るを以て日本が清國を征略するは困難にして且つ危險なるは日本人の自ら認むる所なり果して然らば日本は其征略的妄想を何處に向く可きか日本は抵抗力の最も弱き方面より即ち露國—日本が何等の抵抗を受けざる西比利亞の北東全沿岸と堪薩加全部に對し其の征略の妄想を向くるや明かなり是れ該地方に露國は一兵も配備せず且つ貧弱なる軍隊を派遣する事も不可能なるを以てなり將來に再び日露戰爭の免れざる可き事と其の戰爭の條件とは後段に論述す可し今先づ英國は此の戰爭の再演に關して如何なる思想を懷き居るやを窺ふ可し

英國の直接の利益とする所は何んぞや英國は日露戰爭に依りて如何なる影響を受けたるか英國は日本に對して物質上の助力さへも與へて其の慣手段を以て他人の手を以て燒栗を出さしめ充分の成功を見たるなり我等は中央亞細亞に於ける凡ての希望を喪失し阿富干斯坦は唯だ是れ英國の領地と爲りで我が露國の印度斯坦の國境に對する運動の如きは最早想ひもよらぬ事となり了れり露戰爭の結果は英國の想ふ壺に當れるなり然し英國は其の同盟國なる日本が然かく斷然たる勝利を得べしとも想はざりしなり又英國は露國を以て左程までに劣弱なる國なりとも想はざりしなり印度に對する露國の危懼は先づ茲數年は除去せられたり然るに俄然地の底より湧き出でし如くに新なる危懼—即ち日本の異常なる危懼は現出せり英國の治政の下に在りて今日まで靜平なりし印度は日本の干涉に因りて動搖し始めたり此の動搖は益々甚だしくなる可く決して動搖の全く鎭靜するが如き事なかる可く早晩英國の印度に於ける主權の最期を[illegible]然るに之に加ふる此の日本の政略的危險の外に又極東沿岸より英國の商業を驅逐せんとする日本の經濟上の競爭者現出せり此の商業上の危險に對しては英國の國威を以てするも全く之に對抗するの力を有せざるなり今や英國は日本を助けたるの誤れるを悟り競馬にて不良なる馬に賭けを爲し想像上の（露國の）危險を免れて更に實際の（日本の）危險を招きたる事を覺れり是れ全く眞實にて英國も能く之を解せり然るに英國は是に對して如何なる行動に出でたるか英國は甚だ智慮ある行動を爲せり英國は勇强なる日本と同盟せり是に依りて印度及びポリチシアに於ける危險は暫時除去せられたり然らば是れにて萬事は終了せしや否や日本は如何にもして其領土を擴張せざるを得ざる國情あり合衆國の移民計畫も不可能となり清國の占領も不便なりとすれば殘る所は唯だ露國あるのみなり日露間の未來の再戰は英國に取りて利便ありや否や之を英國の見地よりすれば兎に角に此の戰爭に因て日露の兩國は大に疲弊するに相違なし英國は戰爭の終りに恰も一千八百七十七年同七十八年の露土戰爭後の如くに何等かの利益を獲ん事を想像し居るなる可し

事實は日に日に明瞭になり來れり然るに何故にや此の事理を解ざる者多く何故にや日本との戰爭は出來得ざる事と想ひ「日本とポーツマスの條約を締結したるばかりに非らずや如何で今俄に戰爭などのある可き理あらんや」と言ふ者あり

何故に日露國の再戰は不可能なるか日本は土地に渴せり何故に日本は我が國が現今何等の防禦を爲し得ざる地を奪取し得ざるか西比利亞の東北岸並に堪薩加は恰も是れ北米合衆國領に歸したる北米の我が領地の如き狀態に在るに非らずや

之を政治上の見地よりするも日露の再戰は全く有り得べく期し得べき事なるやゆかなり日本國民は此の再戰を希望せり是れ近頃日本を訪問せる我が有力なる諸人士の何れも證言する所なり

間島の現狀（續）
小川理學士の談

△金融機關 目下間島に流通する貨幣は日貨即ち第一銀行手形、韓國小銀貨、韓銅錢と吉林省發行の官帖及び小銀貨の外に若干の露貨を見るも第一銀行券の信用次第に加はり清韓人の別なく之を好むの傾向あり統監府員の始めて間島に入りたる昨年八月打步を附して支那貨幣と交換するの不便を感ぜし事ありしも現今は信用の程度却て支那貨幣の上にあるもの〻如し露貨に至りては局子街以外には目下殆んど之を見ず然るに現今支那商人に兩替店及び銀行業を營むもの無く取引ある他地方の商店と好意上爲換を組み得る事あれども殆んど例外にして爲換兩替等の機關は全然存在せざるの結果植木商店の如きは日淸商人よりは貨幣交換の一機關たる姿なり斯る有樣なるを以て間島の產業開發上には爲替、荷爲換、兩替及び貸金の金融機關を設立するの必要ある可く又商業として銀行業は目下最も有望なるもの〻一なり

△交通 交通の不便なるは間島の發達を妨ぐる最大原因にして淸津、會寧間五十餘哩の輕便鐵道あるも手押式にして戰役中の急造に係るものなれば運搬上の困難危險少からず之を一手に受負ひたる和淸洋行は一時營業中止の悲境に陷りたる事すらあり此線路には茂山嶺ありて冬期積雪の際輕便線は勿論牛車馬車の交通も頗る困難にて夏期は霖雨毎に沿線所々に汎水洪濫の虞あり會寧以北は龍井村迄十三里の間牛馬車の交通あるも兀良哈嶺の坂路は冬期の交通困難なる現況斯の如くなるを以て間島の穀物は之を馬車にて淸津に輸出すれども輸入す可き雜貨なきと同時に運搬費の多額なるが爲め殆ど收益を見ざるの有樣なり道路の改築、鐵道敷設は最も必要にして少くとも淸津會寧間の輕便鐵道を改修し一層運搬力を增加して貨物の出入を便ならしむるに非ざれば間島の開發を妨ぐること非常なるべく又淸津港は本年四月一日より開港場となれども內地陸路の便を得るにあらざれば將來の繁盛は到底期し難かる可し

△人口 現在住民の數は韓人戶數一萬六千人口七萬七千淸人戶數三千七百、人口二萬三千餘なるが未耕地の開發に伴ひ更に數十萬の人口を容るゝの餘地あるべく煙草麻等の有望なる特殊の作物を盛に栽培せば農產物の富源亦頗る大なるべければ之が經濟開發の道を講ずるは最も必要の事業なる可し最後に邦人にして間島に旅行視察を爲さんとする者に對し注意せんに時期は四月より十月の間にある可く目下間島への旅行には大阪、神戶、宇品、門司、釜山、元山、城津、淸津を連絡せる中越汽船會社の定期船は每週一回あり門司より八日にて淸津港に達すべし是より會寧を經て龍井村に至る陸路約三十五里の間は四五日を要す可く、輕便鐵道に依るものは富寧の日本旅館に一泊して會寧に達し得べし同地には日本旅宿數個あり是より間島に入るには必ず寢具食器等の携帶を要す龍井村には赤萩旅店あるも間島の內地を視察せんには韓馬牛車支那馬車に依らざる可からず派出所設置當時にありては內地旅行の危險困難少なからざりしも其後は一般に平穩なれば今春以後の間島視察は左程の難事にあらざるべし云々（終）

暴徒討伐賞詞（一）

暴徒に關し賞詞せられたる人々は左の如し

賞詞

原州守備隊配屬韓國近衛步兵隊
陸軍步兵正尉 金亭燮
外四十二名

右は明治四十年十一月原州守備隊へ配屬以來常に偵察嚮導等の勤務に服し晝夜殆んど寧日なく東西に奔走し困苦缺乏に堪へ善く其任務を盡し我討伐隊の行動に多大の貢獻をなしたるのみならず堂峴沙芝谷鳳腹寺其他數回の討伐及偵察隊に附隨して其功績少からず依て賞詞を附與す
明治四十一年一月十六日

賞詞

旌善分遣隊
步兵第五十聯隊第四中隊
陸軍步兵伍長 池田巖
陸軍步兵上等兵 山浦岸太郎
陸軍步兵一等卒 高橋善太郎
同 中野龜一
陸軍步兵二等卒 長澤德治郎
同 島田一男
同 寺澤和三郎

右は旌善分遣哨として本隊と遠く離隔し四面悉く賊たるが如き狀況にありて旌善附近の警備に任し明治四十年十二月四日約五百名の暴徒不意に旌善を包圍し四面より邑內に進入して猛烈なる銃火を集中するや分遣哨は直に形勝の地を占め沈勇之れに應戰し五時間戰鬪の後多大の損害を與へて賊を擊攘せり然るに賊は分遣哨の兵力寡少なるを探知し翌五日拂曉再び來襲し旌善南面一帶の高地より邑內に向て劇烈なる射擊を開始せり分遣哨は前日來の疲勞其極に達せるに拘らず直に起て勇戰奮鬪するも賊は我寡兵を侮り容易に退却せず茲に於て彈藥を節し飮食を廢し各兵互に相激勵して戰鬪を繼續すること終日賊數十を殪して遂に之を擊退したる動作は沈着勇敢にして能く己れの任務を盡し寔に他の模範となすに足るものと認む依て賞詞を與ふ
明治四十一年一月二十日

賞詞

信川守備隊步兵第五十二聯隊
第五中隊
陸軍步兵二等卒 小野寺岩吉

右は明治四十年十一月以降信川守備隊に屬し暴徒討伐に從軍し屢々戰功あり就中明治四十一年一月九日載寧郡飛龍峴附近に於て賊魁禹成昌が率ゆる約百名の賊を攻擊するに當り右翼隊に屬し勇戰し賊を擊破し禹成昌が最後尾にありて賊の敗兵を指揮しつゝ退却するを見るや之れを殪さんと欲し挺身迂回して之に追及し單身格鬪二ヶ處の負傷に屈せず三十分間苦鬪の後遂に賊魁を刺殺したる動作は頗る勇敢なるものと認む依て賞詞を與ふ
明治四十一年一月二十一日

賞詞

原州守備步兵第五十一聯隊第一中隊
陸軍步兵中尉 山本果
外十五名

右は原州守備隊に屬し屢々暴徒討伐に從事し就中昨年十二月十四日堂峴に於て約三百の賊を夜襲し巨魁韓甲錫以下約百二十を殺傷し越えて十九日鳳腹寺に於て約五十の賊を夜襲し首魁韓兩米以下二十七を殪し多數の銃器を鹵獲し同日尙は賊を搜索して閔肯鎬の率ゆる約二百五十の賊と倉村に於て衝突し交戰五時間之れを擊破し其約八十を殪し多數の鹵獲品を獲たるは其討伐の計畫適切にして行動亦頗る勇敢機敏なりと認む依て賞詞を與ふ
明治四十一年一月二十日

二月中 京城各商店商況

△玄、白米 舊正月前は韓人側の玄米賣出し多く隨つて相場も多少下落の傾向なりしが本月に入りては韓人側舊正月の爲め田舍よりの出廻り等更に無く加ふるに仁川東洋貿易會社、其他盛に外國輸出米の買入を爲したるに付き一時非常に相場の引揚を見たるも下旬に入りては輸出米の買入も中止の姿となり且つ日を追ふて解氷春暖に向ふと共に出廻り弗々あり相場も幾分下落を見るならんと豫想せり（持井精米所）

△日本酒 前月に比し賣行好況なるも値段に於ては變動なし元來本品は幾多種類の輸入を見るも其中菊正宗、白鶴等最も賣行良好なり

△味噌、醬油 本品は九州地方を始めとして千葉縣地方のもの賣行良好なるも目下仁川株式會社にて釀造の龍印醬油は各地方軍隊側に需用多く爲めに目下好況を呈しつゝあり中にも大樽より小樽の賣行良好にして値段に於ては前月と同じ（酒井商店）

△洋、麥酒 前月に比し幾分活氣立ちしも各輸入元冬期の貯藏品僅少なりし爲め本月下旬に至り各店何れも現品拂底の狀態にありしに反し洋酒は目下時候柄賣行不況にして各直輸入元に在つては貯藏品多く値段に於ては何れも前月に同じ然れども三月に入らば麥酒は內地釀造元値段の模樣なるにより當地にても一般に各店とも箱に付き一圓內外の高價を呈するならん（龜屋商店）

△砂糖 賣行相應にあり內地相場は幾分上騰せしも當地に於ては變動なし是れ各店共幾分の持合品あるに因るならん（高瀨商店）

△麥粉 賣行弗々ありて相場も變動なし（同店）

△大、小麥 出廻り甚だ少なく始終拂底の狀態にありて市場取引も亦不況を呈せり値段に於ては前月と變りなし（古迫商店）

△洋、金巾 賣行弗々ありて相場は銀相場に連れて時々變動ありしも全體に於ては保合の姿にて本期間は淸、韓人共舊正月後十五日間の休業期なりしを以て一般に取引少なく從て値段に於ても前月に比し反に付き二十錢內外の下落を呈せり

△和金巾 目下賣行面白からず相場は前期と變動なけれども一般に弱含にして早晩幾分の下落を見るならん

△紡績糸 本月中は內地三品、現物兩相場共追次下落の爲め當地に於ける相場も漸次下落し從つて賣行面白からず特に地方取引多き本品は舊正月に連れ韓人の入京者皆無の爲め一層賣行減少せり然れども三月に入らば多少の活氣を見るならん（高瀨商店）

△石炭 本月に入り前月に比し幾分の賣行減少せしも目下需用期中の事とて賣行良好なり亦た値段に於ても前月と大差なし（林田商店）

△ペイント類 各所の工場未だ工事始めに至らざる爲め賣行捗々しからず値段に於ても前月と變りなし

小說

紋のみだれ（九十五）
永井櫻國

勇五郎が酒食に耽り、山田が結婚の準備に心を惱め、淸之助が肩で呼吸する身重になる中に、早くも半歲は過て神無月の中旬となつた。

淸之助は、綿琉球の袷に、銘仙の華美な書生羽織を被り、鬢の解を直しもあへず、朝未明より山田を訪れて、まだ臥床に在りし山田の傍に亂次なく坐つた、其姿の、優に風情あるを凝乎と瞻める。



『だつて、昨夕は終夜てボッチリとも爲ないんですもの。』と、鬢の解毛を掻上げる。

『奈何して、氣分でも惡かつたのか。』

『氣分は惡かアありませんけど、種々心配で堪らないもんですから……』と、浮立たぬ顏色。

『何か又、心配事でも出來たのか。』

『心配事つて、大川が愈々歸つて來たさうです、昨夕お師匠から些と聞いたもんですから、歸りがけに寄つて御相談爲やうと思ひましたけれど、モウ深更もあつたし、少し寒氣が爲たもんですから、寄らないで歸宅ましたの、だもんですからオチ〳〵眠れないで、斯麼に早く出掛て來ましたの。』

山田も今更のやう驚いて

『……ふむ、到頭歸つて來たか、それぢや又前が心配するも有理だ、でモウ何か結婚に就て話でも始まつたのか。』

云ひつゝ、ムク〳〵と床を放れて寢衣のまゝ膝を正して坐る。

『あら、那樣事なさると風邪ひきますわ。』と、起つて傍に脫いである平常着を、後から被せかけて、又元の坐に復し

『まだ貴方、一昨晩歸つたばかりださうですから、彼の方の話は何にもありませんけれど、丁度約束の六ヶ月目に歸つて來る所を見ると、いづれ近日云ひ出すに相違ないと思ひます。』

『そりやお無論其意で歸て來たに違ない。』

『ですから何時言ひ出されても驚かないやうに此方の手筈を極めて置かなきやイザと言ふ折困るでせう、だもんですから彼方から緣談の出ない中に、何う何う何う爲やうかと云ふ詳しい御相談爲て置かうと思つて、それで出掛て來たんです、何う云ふ風に爲たら宜いんでせう。』

『何うと云つて大体は之れまで相談した通りで宜いぢやないか。』

『大体はモウ分り切つてますけれど、私が御相談申すのは大体の事ばかりぢやありません、先方が斯う言へば此方は何う云ふとか何から何までの詳しい御相談なんです。』

『イヤ其なら分つた、私も豈夫の時には斯う爲やう位は、これまでにチャンと思慮へて置いたから、詳しく私の考を話して見やう、其上で不可い事は相談爲るが可いが、しかし顏でも洗つて寬り話すから、お前は氣の毒だが床を納つて下ないか。』

『本當に、寢衣のまゝで寒かつたでしやう、ぢやア床を納つて掃除して置きますから、お顏を洗つて入來しやいませ。』

『ぢやア洗つて來やう。』

さ、室を去つたが、やがて入つて來た頃は室內は奇麗に掃除が出來て、淸之助は茶を入れるばかりにして待つて居た。

扨彼等は如何なる相談を爲るであらう。

統監府に問ふ

京城新報

統監府設立以來吾人の記億せる政治的成績を舉ぐれば、保安規則を制定して浮浪無頼の驅逐を計りたることなり、土地證明規則を制定して私有權の査證を爲したることなり、而かも土地經營者が該規則に不平を訴へたる[illegible]りしこと少しとせず、鑛業地國有案並に鑛業條例を發布して利權の分配を謀りたることなり、[illegible]一號の許可を與へたりしのみ、官制を改革して[illegible]の行政事務を改善せんとし、許多の官吏を登用して韓國官吏の待遇厚きに過ぎしめたることなり。就中其尤も顯著なる政治は所謂[illegible]、朝鮮[illegible]り、而かも荒蕪地條例は發布[illegible]一事なりとす、[illegible]たり、旅行者、宣教師が放逐[illegible]ことなり、[illegible]招くに至りしことは、統監府の當局者が今に於て深く回顧する處なるべし。其著しき事例として之を舉ぐれば一進會は韓人一部人士の政社にして戰役中は彼我相便益を通じたりしと雖も、保護政廳の機關となり御用政社となりしが如きは頗る不都合の次第なり、後日に至りて自衞團となりては却つて其弊害の大なりしに驚き多數の良民をして猜疑感を懷かしめたりしが如きは其顯明なる例なるべし、或は耶蘇教徒の勢力を見ては宣諭使を任命して其不可なりしを後悔し、殆んど天下秀才の府たる統監府をして斯る不成功を遂ぐるに至りしは、全く國勢を了解せず、國情を了得せざるものゝ打算と劃策と謂はざる可らず、是等の小失敗は敢て保護政府の輕重得失を論ずるに足らずとするも茲に吾人が問はんと欲する問題は帝國の利害に係る極めて重大なるが故に特に列擧して問はんとす

保護國に對する母國の財政負擔は今日に於て計上するも三千萬圓以上に達せり、母國政府が其國家經濟の調理に腐心せる實に尋常ならず、戰後に於ける財政の困厄は今や全國民をして憂慮せしむるの秋に際して、我保護政廳は不急の工事を起しては半途にして繰延べとなり、而かも保護國自らの財政計畫は今尚ほ血肉を裂くの感を以て立特金を以て之を補充するの狀態に在り、苟くも其國防の大權を協約によりて獲得する以上は其國防の費を保護國より收入すべき計畫は財政の第一案として立てざる可らず通信交通の費自ら然りとす、官制を擴張し官衙を膨脹せしむるは行政の進歩に相違なしと雖も、其後緩急輕重を計らざるが故に行政官吏は唯だ增加するのみにて政費の節減は得て望む可らず、政策よりせば國勢及び民情に相應しからざる行政改革は無益にして財政上よりしては無用の改革たり、吾人は何故に保護國の爲めに多大の負擔を爲すの義務ある乎、苟くも特別會計の財政策を立てゝ[illegible]ざるの立替金補助は[illegible]漫然今日の如き財政計畫の下に於ては不安を思ふのみ。

次ぎは時局の發展なりとす、今や暴徒鎭壓[illegible]せるものゝ哀願な[illegible]して鎭壓の機會を[illegible]統監府なりとす、苟[illegible]て之を鎭撫せしむるも[illegible]を以て之を鎭滅せしむ[illegible]は日韓貿易[illegible]の切望なり、斯る慘[illegible]責を負へる當局が[illegible]功蹟を期待するが[illegible]にして又無責任の[illegible]太平洋沿岸に於ては[illegible]護國に於ては放逐せ[illegible]強大なる國家の代表[illegible]の術を知らざれば[illegible]知るに於ては斷行勇進せざる可らず。

若し夫れ國境の拓殖、交通の經營等其の當きに爲すべき急務は少しとせず、只だ其漢城政府の操縱に腐心するが如き、返へす返へすも帝國が大なる發展と國民的勢力擴張の上に遺算少しとせず、我當局者は現今帝國の形勢に鑑み、大に奮勵する處なかるべからず。

紐育電報

▲排日法を要せず

日本政府が渡航制限をなしてより米國に來航せし日本人は僅々七名に過ぎず是れ日本が忠實に米國との約束を守るを證するものにして更に排日的法律を制定するの必要なきを示せり（十二日發）

東京電報

▲葡清領海交渉

葡萄牙は清國が辰丸の碇泊したる地點を以て清國の領海と主張せるに對し駐清代理公使をして北京に向つて抗議せん爲め外務衙門と交渉中なり（十三日發）

▲三税廢止案否決

島田代議士提出の三税廢止案は本日の議會に於て出席者三百二十二名の内反對者二百名にて否決せられたり

▲辰丸沒收の決議

廣東市民大會は辰丸沒收の決議をなし之れを以て北京政府に迫るべしとの報あり

▲西國皇室御訪問

久邇宮邦彦王殿下には陛下の御名代として昨日伯林を御出發在らせられ西班牙國皇室御訪問の爲馬德里に向はせられたり

▲有栖川若宮御快方

有栖川若宮殿下は漸次御快方に向はせられ今日の御病態によれば御全快確かなり（以上十二日發）

親報

●三大王の尊號　故哲宗大王憲宗大王眞宗大王に皇帝の尊號を奉ることゝなるべしと云ふ

●秘苑園遊會委員會　來る廿八日秘苑園遊會の各委員は去十二日正午内閣に於て商議會を開き更に十三日午後二時より同委員會を開きたり

●園遊會招待員　別項秘苑園遊會の招待者は日韓の重なる者及其他外國人にて約一千四百餘名なりと

農商工部の水産調査

農商工部は今回漁業法發布の準備として全國水産事業の調査のため統監府と共に約一萬圓の金を投じて全國各地に技師を出張せしめたる事は既報の如くなるが今其の調査の要項を聞くに左の如し

甲、漁村浦に於ける一般調査

一、漁村浦の位置、地勢、廣袤、氣候、山河港灣の形勢并に是等の土地氣候及山河港灣が漁村浦及び島嶼に及ぼす關係

二、漁村浦及び島嶼が海面に接觸せる狀況并に其海面に於ける潮流及び潮汐干滿の狀況

三、山林田畑宅地未墾地の現狀及び其の見込反別、官民所屬の別、土地賣買價格利用し得べき土地の種類、廣袤及び其用途

四、住民の戸數人口概計、職業概別、人情風俗生計狀態及び其難易

五、生活物資の需用供給狀態、飲料水の有無及び其供給方法

六、海陸交通の便否、通信機關の有無

七、衞生教育に於ける設備の有無

八、生産物の種類、産額、販賣方法及び其の機關并に商習慣

九、輸出入品の種類及び其集散狀況

十、漁村浦に於ける行政機關の存否其名稱及び其の沿革の概況

十一、漁村住民又は通漁者に對し行政若くは公力に依り保護取締其他の施設を要すべく認めらるゝ事項及び其理由方法

十二、其他必要と認むる事項

乙、漁村浦に於ける漁業調査

一、水産の種類及び分布并に潮流派流との關係

二、漁採物の種類及び漁採の場所

三、漁場の位置、形勢、水深、潮流、派流の種類及び其緩急、海底概況及び周圍の狀況

四、漁業種別、漁具、漁法、期節及び其の船數并に漁業者、在住者及び通漁者の數

五、定置其他水面專用漁業の場所及び使用の慣行

六、前項漁場の賣買貸借に關する慣行、手續及び其普通の價格又は料金の程度

七、漁採場の處理、産額、價格、販賣機關、販賣法及び販賣先き地名并に販賣に關する慣行

八、餌料需用供給の便否及び其の狀況

九、船舶定繫所の廣狹、水深、適否及び設備の有無

十、魚付林の有無及び其の設定の要否并に所在個所及び其の廣袤

十一、漁業種別による營業資金及び其の組織の内容并に其の經營が組合組織の場合に於ける出資方法

十二、前項の經營による漁獲物又は其販賣代金配當方法

十三、漁業者の資金融通に關する狀況

十四、從業者其他人夫の雇入難易及び慣行并に其の普通賃金

十五、漁業者公費負擔の種別及び其の納入狀況

十六、漁業者副業の種類及び其經營方法

十七、日韓兩國漁業者相互間に於ける漁業上の差違及び其特長又は短所并に韓人側の日本人に對する感情狀態

十八、日本漁業者の韓海に於ける漁業が自然の指導をなし韓國漁民の漁業上に及ぼせる改良發達の事實及び其の他に及ぼせし利益

十九、現在漁採中又は漁採せざる水産物にして將來改良擴張を圖り有利の認めある漁業の種類、場所、漁期、漁具、方法其他經營方法（未完）

水原農林學校の近況

水原農林學校は農學林學獸醫學を教授するため一昨年九月創設せられたるものにして目下本科研究科速成科の三科を置き本科は農學林學を兼修せしめ研究科は本科の卒業生を收容して農學或は林學を專修せしめ速成科は之れを農、林、獸醫の三科に分ち各科を速成的に專修せしむるものにして修業年限は本科二年研究科一年速成科一年なり職員は校長本田博士以下專任五人及び農商工部より道家、柳田、岡の三氏並に模範場より三人の兼任の囑託教師あり現今生徒は本科二年生二十名一年生三十名速成科中林學科生七名にして二年生及び速成科は本月末を以て卒業し本科の卒業生は模範場及び各道の技術員に速成科の卒業生は山林局技手に採用せらるゝ筈なり此の本年本科を卒業すべき二十名は本校創立に當り元農商工學校及び元京城學堂に在學せし農科を收容したるものにして成績極めて良好なりと云ふ尚ほ在學生は皆同校寄宿舍に收容し從來學費として本科速成科共一人一個月五圓の割にて支給しつゝありしを本年より六圓に增額し此の金額の範圍に於て食料學用品一切を支辨し居れり

軍司令部會議

一昨十二日軍司令部に於て開會したる事柄は增派憲兵配置及び暴徒鎭壓に關する事項を審議したるのみにして參列者は長谷川軍司令官牟田口參謀長岡崎中將村田少將垣吉少將明石憲兵隊長其他各參謀副官及丸山警視總監松井警務局長等なりしと

暴徒討伐情報（軍司令部着）

●浦項守備隊報告　慶尙北道浦項守備隊より出したる上等兵以下七名は二月廿九日興海郡內に於て永川郡方面より來れる約四十の賊に遭遇し之を潰亂せしむ賊の死五傷二十同討伐隊は更に三月二日同郡內に於て約百五十の賊を襲ひ其七を殪し三十を傷けたり

●延安守備隊報告　黃州道延安守備隊は討伐の爲め三月四日白川に到り下士以下三名を延安に歸還せしめたるに途中延安の東北方約二里水原橋附近に於て約八十の賊と戰ひ其一を殪し三を傷け守備隊の主力は六日白川東南方約四里に在る菊根里に於て約五十の賊と戰ひ賊魁以下四を殪し多數負傷せしむ

△陽德守備隊報告　平元街道上陽德守備隊は三月五日同地西南方約五里地境里に於て約八十の賊を攻擊し其五を殪せり

△騎兵隊報告　派遣騎兵第一中隊の討伐隊は三月九日羅州北方約四里竹山附近に於て約六十の賊を襲ひ廿七を殪す

△注山谷の賊　京城東南方松坡鎭にある騎兵停止斥候兵以下は三月十一日同地西南方約二里注山谷附近に於て約三十の賊と遭遇し增援兵と合し賊を追擊したるも遂に其蹤跡を失す

●特設巡査隊の成績　內部警務局は暴徒討伐のため各道警察討伐隊の外に主として韓人巡査を以て組織せる巡査隊三隊を特設し忠淸、咸南、全南の方面に於ける暴徒の討伐に從事せしめしが巡査は右の各地方にて募集し一隊を約五十名とし軍隊討伐隊と協力討伐に努めつゝありて其の成績極めて良好なりと云ふ

韓國航路復舊

數年間縣費の補助を以て唐津港と韓國間の航海を爲しつゝありしが昨年三月にて廢止となり不便少なからず昨年佐賀縣會に於て韓國航路補助費一萬圓を可決し唐津町の岸川善太郎氏に對し四月一日より唐津より伊萬里、嚴原、釜山、木浦、群山、仁川、鎭南浦に至る航海開始を命令せり同氏は此命令に從ひ東照丸（六百四拾五噸）を以て月二回半航海することゝし同船は本日午後二時唐津港を出發して韓國に向け試驗的航海の途に就けり

仁川開港祭と同志會

仁川開港廿五年祭に就き民團理事者より實業同志會に交涉する處ありたることは既報の如くなるが今其模樣を聞くに初め民團理事者は同會役員の中美濃谷八田市川伊藤の諸氏を招き交涉を開始せしも結局評議員會に於て附議することゝなり加藤會長不在なるを以つて美濃谷氏の名義を以つて緊急招集せしに時を移さず來集し午後七時開會同十二時散會せるも其結果として其事件に與るは同會の趣旨に反するを以て固く謝絕し個人としては可及的盡力することに決せりと云ふ

●仁川運送組の好績　去る一月一日設立されたる仁川運送組は其後の成績極めて好く京城、平壤其他の如きも續々之れに倣ふて同樣の組合を組織するに至れるが從來の如く計算を各個別にするは執務上不便少からざるを以つて將來は目下在久留米日本運送株式會社の採用して好結果を博しつゝある共通計算制を執る事となるべしと

●郵便差出方の注意　近來小包郵便物に書狀を合裝したる爲め罰金に處せられ又は日本國に宛て烟草を郵送せんとして該郵便物を還付せらるゝもの多き由なるが元來小包郵便物には無封の添狀又は送狀のみは合裝することを許され居るも苟も通信文の性質を有する書狀は封の有無に拘はらず合裝することを禁ぜられ居るを以て若し之を合裝したるときは其の小包郵便物は差出人に還付せられ其の送達の目的を達することを得ざるのみならず差出人は拾圓以下の罰金に處せられ又日本國へ烟草を輸入するには自用又は標本にして煙草專賣局の許可を受けたるものに限れるを以て若し其の許可を受けずして烟草を郵送せんとしたるときは其の郵便物は差出人に還付せられたるときに納付したる上最早該郵便物を差出したると同額の還付料金を徵收せらるべき筈なるに依り小包郵便物を差出さんとするときは能く此等の點に注意し右等反則の行爲の爲め處罰其の他の損害を蒙らざる樣心掛くること最も肝心なり因に郵便官署に於ては書狀を小包郵便物に合裝せりと認めたるときは差出人に其の開示を求むることあり又日韓兩國間に遞送する小包郵便物は總て稅關に於て開封し在中品を一々檢査するを以て若し前記の如き反則物品封入あらんか必らず發見せらるべしと云ふ

●連絡船の遲著　關釜連絡船會下山丸は一昨日午後八時に馬關を出帆すべき豫定なりしも都合に依り出帆遲延し昨日午後六時釜山に入港したるを以て郵便物も自然延着することゝなりたれば本日は日本よりの郵便物は配達なしと云ふ

外國貿易旬報

隆熙二年三月上旬　關稅局調査

區分	本旬分	一月以降累計
輸出品價額	二五八、八六九圓	二、五五七、三六七
輸入品價額	六三八、八六四	六、一七一、二五二
合計	八九七、七三三	八、七二八、六一九

右貿易額の港別左の如し

港名	本旬分輸出額	輸入額	計
仁川	一三九、一八二圓	二二六、二二七圓	三六五、四〇九圓
釜山	一七六、六〇五	一五七、六六六	三三四、二七一
元山	二〇、一七五	三一、八二六	五二、〇〇一
鎭南浦	一〇、九五四	三一、三二九	四二、二八三
京城	—	五六、〇八五	五六、〇八五
群山	四〇、八四六	二三、五七二	六四、四一八
木浦	一八、七〇三	二〇、四九五	三九、一九八
馬山浦	九、一三六	八、二四五	一七、三八一
城津	五、〇八七	五、三三三	一〇、四二〇
新義州	四二、一一七	七、一一五	四九、二三二
計	二五八、八六五	六三八、八六四	八九七、七二九

輸出重要品表

品名	本旬分	一月以降累計
米	一三〇、〇八六圓	一、二二八、三三一圓
大豆及小豆	四〇、〇六一	八四五、九六〇
鮮魚、乾魚及鹽魚	一、六五九	五四、八二三
人蔘	—	一〇六
生牛	二五、七三四	一五三、八六八

輸入重要品表

品名	本旬分	一月以降累計
食鹽	一、三五五圓	二四、六七六圓
清酒	五、三六一	八五、八六四
打綿	一、五二〇	三六、一六三
生金巾及シーチング	三二、四二三	八七二、五八四
日本木綿	二六、二六四	三三一、四五三
煙草（葉卷を除く）	五九、〇三三	二六九、四〇三
石油	三九、七七七	四〇〇、〇六八
マッチ	七、三六八	六九、三七七
砂糖及精糖	一四、四八四	九九、五三〇
石炭	一五、五五九	一二七、〇四二
綿織糸	四一、五五〇	三三四、九四四

●大韓協會總會　本日午後一時より大韓協會事務所內に於て通常總會を開き會務を處理する由

●仁川女學校教師交涉

今回新設されたる仁川女學校に招聘すべき教師の人選に就ては種々凝議中なりしが漸く此程一二教員の詮考を了り目下本人と交涉中なりと云ふ

●大東學會中學　大東學會にては中學校設立の計畫中なりと云ふ

●權藤氏の引籠り　宮內府事務官權藤四郎介氏は此程來病氣にて引籠り中なりしが昨今快方に赴けるを以て近日出勤せらるべしと云ふ

●紀念メタル到着　仁川陸軍運輸部にては東宮殿下御渡韓の際特に同部に下賜せられたる賜金を以て紀念メタルを調製することゝし其の調製方を東京に注文したるが昨日送附し來りたれば同支部員及び出張所部員に分類せりと

近事片々

▲捺名　取寳細工は流々仕上を見よの臺辭者空となり今や韓官の横行跋扈に手古摺る

▲蹂躙　の擧動を制せんとすれば反對に伊公を撓ぎ韓國本位を振廻され日官ギヤフンと參る

▲韓官　の擧動斯の如き最初より分り切つた事　▲更思痴言は止め疾く膺懲鞭撻が肝腎

▲日本　外交柔軟僻は何處にも茲處にも馬鹿にされチヤンにもヨボにも腹を見透さる

▲辰丸　事件にしても斯迄の大問題となすに及ばず談笑の間に決すべきものゝ歯痒き事

▲帝國　現在の實力ありて到る處に失敗の繰返す爺ムの外務省なきに若かずの感起る

▲伍廷　芳辨が盛頓に於て日本は最後の手段を取得ずと放言す深慮千萬也

▲現時　の外交狀態ではチヤンやヨボ等に馬鹿にさるゝも無據外交刷新は帝國の急務

▲外交　軟弱の爲在外邦人不利益を蒙る甚しき外交機關は必て邦人發展の妨害を爲す

▲獨帝　書簡事件大問題となる獨帝小細工は　▲平和に波瀾を起さしむ帝の存在ぢ問題に絶へず

▲一部　も靜居し居ざるは獨帝謬聞は屍状に煩殺されむ之を思と英皇は流石遙味あり

▲亞弗　利加にある獨領の一島海水の爲に壞滅しつゝありと之れ獨逸衰運の兆なる乎

▲該島　は曾て比斯麥克が强剛の談判により英の手より取れる者壞滅は何を意味す乎

▲石川　理學博士人が猿から進化せる證據を擧黑人と白人の差は猿と黑人の差と同じ

▲人類　が猿の進化とは久き議論科學の研究進步して先祖は猿殿と相場が極りそう也

▲尾張　國に犬と猫との混血兒生れ体は父の犬に似て眼と聲は母の猫に似たりと奇也

▲母子　共に健全異種動物の交尾は絶体不可能然に斯奇事あり造化の戯か何かの兆乎

●歸順者累計　二月七日迄に各道警察署[illegible]歸順者を加算する時は二千四百二十四名と[illegible]

江原道七十八人　平安北道二人　黃海道[illegible]　合計百四八人

典膳司長金玉鉉、禮式官高羲誠、典醫洪在韓、侍從李範漢、同洪運杓、惠壽宮計百六十八

京城新報　明治四十一年三月十四日（土曜日）　第壹百一號　（三）　（明治三十…年…第三種郵便物認可）

…して之に郡守宣諭委員に歸順せる三百五十…名並に憲兵隊に於て取扱ひたる四百八十三名及び甲山暴徒車…善以下五百八十三名の…

…而して三月一日より同十日迄の間に於ける警察取扱の歸順者各道別は左の如し

忠淸北道　二人　忠淸南道　四人
全羅北道　一人　全羅南道　十八人
慶尙南道　三人　慶尙北道　三人

●…昌德宮…計五十八人（內…）重なるは宮内府大臣李允用、完興君李載完、承候官尹澤榮、同尹德榮、侍從院卿閔丙奭、同副卿李會九、警視副監具然壽、（內婦人七十八）重なるは承候官李載完…侍從…金永甲、同金漢鎭等なり

節婦表彰せらる

（手一つに家族七人を養ふ）

繊弱なる婦人の身を以て一家七人の生計を支ふるさへ容易の事にあらざるに尚ほ父母に仕へて孝に貧苦の裡に在りながら子供等に巨額の學校貯金をなさしめたるなど當に近來稀なる節婦と云ふべし埼玉縣北足立郡草加町字吉笹原荒物商亡竹太郎妻廣瀬いよ（三十）は同縣南埼玉郡川柳村大字南青柳農垣沼彦右衛門の三女にて今より十八年前竹太郎方に縁付たるが竹太郎には祖父佐治右衛門（七十）祖母くま（六十）ありて五畝二歩の宅地に八坪七合ばかりの平家を建て荒物商を營み居たりしも田舍の事とて賣ると云ふ程賣れざれば竹太郎は常に小間物を脊負ひ近在へ行商をなし一ヶ月僅に十四五圓の利益を得て辛くも一家の糊口を支へ來りし内に夫婦の間に長女うの（十八）二女くに（十二）長男榮太郎（十五）二男末次郎（十三）の四人の子さへ儲けたれば只さへ乏き勝の上に益々貧を重しに不幸は更に憐なる一家を見舞て夫竹太郎は去卅二年九月中病氣に罹り卅一歳を期として歸らぬ旅に赴きたればいよは悲歎の涙に暮れ殊に父母は年老い子供は幼く物の役に立つものとては己れ只一人のみにて行末心許なき限りなれど早くも決心する處ありてか夫の死後は家の事は父母に委ね自分は亡夫の殘せる十貫餘の小間物の荷を背負ひて吹雪の冬も蒸すが如き夏も一日として休むことなく毎日朝早くより夜晩く迄近郷近在を行商し其利益を以て一家七人の糊口を支へ舅姑に孝養を盡し四人の子供には各教育を授け居たりしが其甲斐ありて長女うのは既に高等小學を卒業し目下裁縫の修業中にて其他榮太郎くに末次郎の三人も各成績好く小學校に勉強し居れる由にていよの健氣には近郷の人々皆感じあへるが唯りいよは其子供の教育に熱心なるのみならず其生計の苦しき間より尚ほ學校貯金をなさしめ榮太郎の貯金百圓を始めくに五十圓、末次郎二十圓等ありて誠に良妻賢母の龜鑑とすべきを以て今回島田埼玉縣知事よりいよに對し金五圓を賞與せられたるを以て九日午前十時浦和町北足立郡役所にて其授與式を執行し其善行を彰表せられたりと

●京城の日本人戸口數　南部警察署の調査せし所によれば本年一月現在の京城に在住する日本人は

戸數　三千八百五十六戸
人口　一萬三千六百十六人
内　男　七千二百十四人
　　女　六千四百二人

にして客年十一月及び十二月現在數は左の如しと

十一月　戸數　三千八百五十四戸
　　　　人口　一萬三千四百十六人
　　内　男　七千八十二人
　　　　女　六千三百三十四人
十二月　戸數　三千八百九十四戸
　　　　人口　一萬三千四百八十四人
　　内　男　七千二百二十人
　　　　女　六千二百六十四人

●退韓命令　廣島縣佐伯郡深江村の者にて本町九丁目に居住せる濱本直一（二十）が過日賭博を爲し居る所を捕へられ十日以内に正業に就くべく命令せられしことは當時の本紙に記載せし如くなるが直一は其の命を遵奉せず正業に就かずして又もや賭博を爲し居る所を捕へられ左の如く退韓を命ぜられたり

濱本直一

當地方の風俗を壞亂するものと認め明治二十九年法律第八十八號淸國及朝鮮國在留帝國臣民取扱法第一條により本日より向一ヶ年間韓國に在留することを禁ず

明治四十一年三月十二日

●銅峴分署の種痘　昨日銅峴分署にては警視廳囑託醫をして所轄内の日本人及韓人に種痘を施せしが其數男女共約五百人なりと

●提灯行列に出すとて拘引　去る十日の乾元節祝賀の爲め催せる漢城府民團の提灯行列には姥婢妙珍猫も杓子も我れも我れもと參列したので仲々の盛況なりしが此に妓生中には常夜生憎雪の降つたので最も寒威甚しかりし爲め若し出て凍へ死でもしたら割に合はぬ話しとでも思つたか參列せざりしものもありとかにて例の光岡竹子に首つ丈陷り入み海鼠の樣になり居る法部大臣趙重應は此の事を聞き嚇と怒り出し此の目出度き日に雪の降つたにて提灯行列に不參する樣な奴は忠君愛國の心に乏しき怪しからぬ痴漢なりヤツ其儘に生し置くべきか其妓夫等を片端から取押へ糺明すべきものなりと威猛高になりて警視廳に照會し右の妓夫等を拘引せしめたりとは實に怪しかる事共ならずや

●石橋の破損　西小門外盤松坊の大通りは龍山より獨立門に通ずる要路たるを以て却々通行人の頻繁なる道筋なるがつひ先頃より中間の小河に架せる石橋の石材が一個丈取り除かれ今に其の儘となり居るを以て通行人の危險云はん方なく現に一昨夜の如きも二人の墜落者ありしが幸に怪我はなかりしと其の筋にては一時も早く之が修繕に着手するか又は危險を一般の人に知らする爲め目標を樹てゝは如何に

●横着なる驛員　近頃仁川驛へ赴任した貨物係某は一此度だけは特別に姓名を秘しおかん元乘客の靴や洋服の塵拂ひなりしが少しく小才の利くところから其塵拂ひに妙を得たる手腕を適度以上に活用したるより遂に貨物係にまで昇進したるものなるが威張りたがるは成上り者の通弊漸く腰辨の見習になりたる樣に心得て天下にても取つた樣に心得て驕慢を事にすることこそ可笑しけれ一例を擧ぐれば從來紡績糸の如き一噸十梱なることは内地の驛員にありても殆ど[illegible]すべからざる例なりしにもかゝわらず某は經驗のためなりと稱し一梱毎に斤量を當りもし濕氣等のために一二斤にても重量の物あれば直ちに二噸分の運賃を徴收するなど實に言語同斷の振舞といふべし從つて荷主の迷惑に實に一方ならずといふ斯の如き奴輩は速に放逐せざれば將來貨物の運輸上に多大の苦情を惹起すべし

●公園で亂暴　十二日午後四時三十分頃中署パコタ公園南門より日本人三人園内を見物せんため入園を求めたるも入場券を所持せざるを以て番人淸國人郭店慶は之を拒絶したるに日本人の一人は拳を以て番人の面部を毆打したるに依り鼻孔より出血したるも別に負傷なし日本人は現場より逃走す

●酌婦の保護願　原籍佐賀縣松浦郡唐津町平民藤井みす（十八）は去る三十九年渡韓し當地に住み居る同縣ものにて片峰倉藏方に身を寄せ居りしがつひ先頃病氣に罹りたるを以て入院治療せんと思ひしも其の費用なく已むなく全快後の勉強を約束として本町八丁目常盤樓小野きん方に前借六十五圓にて酌婦奉公に住み込みしに折柄國元の兩親より歸國の電報に接せしかば同人も大に閉口し一日も早く歸らんものをと之が保護方を警察署に願ひ出でたり

●確乎れ爲よれかみさん　當地新王城附近に月の入と呼ぶ料理屋あり此の主人何うして儲けたものかは知らねども普通ありふれたる小料理屋と趣を異にし金錢に不自由を知らねば酌婦共も京城の粹を拔いて六七人も居れど美人とは云ひ難きも先づは一寸見らるゝ鬪なれば一里や二里は遠しとせずして浮かれ來る嫖客の足繁ければ今日此頃の末枯時も此の家計りは不景氣知らず主人の懷は益々重くなり行くにつれて黑くなつて働く女房の姿は日に増し醜くなる樣に思はるゝにぞ相當の者もあらばと鷄の目鷹の目探し廻つた末に目に留まつたは九州生れのシメノ（二十）と云ふ頗る付きの別嬪なるが此れが又ナカナカの辣腕者にて此の男なら取り込み置きて損のなきのみか甘く行つたら……との胸算當から自身の方から持ち掛けて石塊位に滅らさぬ交情となり、或る所に閑はれ居たりしも胸に一物あるシメノは一日男に打ち向ひ斯うして遊んで居た所で双方の損なれば何家か貴郎の懇意の所へ仲居奉公でもして小遣位は稼きたしとの事に男はホクホク打喜びソンナラ然うしてと其の日の中に相談一決しシメノは神戸か横濱とか何んでも五港の一を家號とせる家に一ケ月五圓の手當の約束にて仲居に住み込みたるは昨年暮れのことなるか元來これを抱へたる方も月の入の主人の愛妾なることは承知の上なれば日中の外出は何への差支もなく[illegible]と云はねばそれより後男女のものは[illegible]町[illegible]の出と云へる小料理店を密會の場[illegible]として居たるが此の頃にて[illegible]男の熱度は沸騰點に達したるを見て取りたるシメノは宿の女房に爲て呉れなければ活きる分には當町へなきも首でも縊るか身でも投げて死んで仕舞ふと男の膝を容涙でツと濡れに濡らして口說き立てゝありと云へば根が自分から惚れてかゝつた女の云ふことなれば何か女房の落度を目付けて叩き出しシメノを宿の嬶に迎へ取らんと策戰中なりと云へばモシれかみさん確乎しなさらないと飛んだ馬鹿を見ねばなりませんせと世話燒男から投書のまゝをかくこそ

●三百圓の持ち逃げ　南山町三丁目の韓國工業社々員重松三郎は去る十三日の午後雇人福岡縣企救郡柳浦村の生れなる三井武德（十八）を連れ水道會社に到り金三百圓を受取りこれを鞄に入れて武德に持たせ歸途本町三丁目敷屋の横に於て自分は他の要件の爲め道寄りをなし武德に歸宅を命じ三十分斗りを經て松三郎が歸宅して見ると武德は途中より三百圓在中の鞄を拐帶して逃走したるものと見ねて歸宅せず夫れより所々搜索せしも今以て所在不明なりといふ

●材木の火事　一昨夜七時過明治町二丁目の富士商會材木置場より出火せしも近隣の者早く認めて消し止めたり原因は其日大工等が焚火をなし夕刻に水をかけて消し置きたりといへるも火氣の散り居たるものが鉋屑に燃え移りたるものゝ如し

●金錢の買入人處刑　岡山縣邑久郡邑久村の者にて京義線南川驛に居住する石工職吉上熊吉（三十）は木原伊太郎石原榮藏の兩人が開城西小門外居牛場の西手に當る盛陽社石材取場の傍らなる畑地に埋藏しありたる金錢を發見し法定の屆出をなさず開城西部銀前里大興洞なる木原伊太郎宅に藏置せることを知り一月二十日頃伊太郎宅に於て其の内二百十七個の分與を受け其の内二個は同月廿一日開城大和町松岡旅館の下女鳥羽トキに與へ五個は同月二十三日京城分析所へ委托し十二個は明治町二丁目高木傳太郎方へ持行き指輪に製造したるが去る十三日贓物收受罪に問はれ重禁錮十五日罰金三圓に處分せられたり

●無錢遊興者處刑　神奈川縣神郡山背村平民當地西大門外八角亭居住夫中野八百吉（三十）が客月二十九日の夜太平洞二丁目の飲食店渡邊錢藏方に至り金錢を所持するの如く裝ひて酒肴を命じ金三圓九十五錢に相當する飲食をなし其代金を支拂はざることは既報せし處なるが去る十三日詐欺取財犯として重禁錮一ヶ月十五日罰金三圓監視六ヶ月に處刑せられたり

●無錢宿泊者處刑　草場猪太が天安郡南面[illegible]の韓人某の宅を始め各地に於て無錢宿泊及び無錢遊興をなし處刑せられしことは既報せしが其の同行者たる[illegible]も此程捉捕せられ去る十三日重禁錮一ヶ月罰金四圓監視六ヶ月に處刑せられたり

●無法者の處刑　福岡縣築上郡西吉富村の者にて目下當地永樂町に居住する大工職松原常治（二十二）といへるは曾つて毆打創傷罪により處刑せられしこともある亂暴者なるが去る一月十六日の夜若草町一丁目の路上に於て稻生竹次郎といへる者が微醉を帶び常治の同行せし水野平次に突き當り兩人爭論を始めたる所へ常治は平次に加擔しナイフを以て竹次郎に負傷せしめたるを以て去る十三日重禁錮一ヶ月に處刑せられたり

●平岩博士の講演　本日午後七時三十分より旭町二丁目名古屋城内なる日本メソヂスト教會に於て左の講演あり傍聽隨意なりと云ふ

演題　肉と靈　　辯士　平岩　博士

●日韓書房二周年賣出し　本町二丁目日韓書房にては廣告欄にある如く開店二周年になるを以て其紀念の爲め本日より福袋を賣出すといふ福袋一個の代價は三十錢なれど在中の品物は三十錢以上の物のみなりとのことなり

（四）（第三種郵便物認可）明治四十一年三月十四日 京城新報 （土曜日） 第百一號

歯科全般の治療
米國最新式義歯
米國歯科醫學博士 女醫 中村安子
京城本町六丁目（數そは横町）

高等下宿 日の出舘
京城明治町一丁目（漢城病院向筋入）
弊舘は設備完全にして最も閑静なり
弊舘は叮嚀懇切を以て特色とす

一般患者ノ診療ニ從事ス
前院長橋本三男氏後任トシテ今般元福岡醫科大學醫員タリシ百合野寅松氏本日ヨリ診療ニ從事セラル
新王城大漢門前
日韓病院
本院ハ最新治療法ヲ旨トシ梅毒、癩病、下疳ハ本院ノ獨特トス
腫物、婦人病ニハ特ニビール氏ノ欝血療法ヲ施ス

材木、竹類、煉瓦
座敷廻り諸材料特に注意取揃あり
右本年は多額輸入可仕特別廉價販賣仕候
間多少に不拘御用命願上候
小森材木部
京城旭町一丁目
電話七四四番
本宅四〇五番

内外書籍新聞雜誌
和洋雜貨日用品
文房具學校用品
大阪朝日新聞 一ヶ月四十五錢
同 毎日新聞 一ヶ月四十五錢
京城本町三丁目
平田商店
（電話百十五番）

熊平製造金庫
東京 竹内製金庫
大阪二重扉並ニ回轉式 消火器
韓國販賣部
京城本町一丁目
熊平商店
電話六二四番

大割引販賣
中折帽子、靴下各種
ブローチ及ピン
キヤラコ各種
小供洋服各種
長谷川町一の四五
和加奈商會

一袋金三十錢
開業三年紀念 文房具 福袋發賣
●自三月十五日至三月二十日●
一番 コッピープレス附属品薄記帖一組 三十圓
百番 舶來硝子台付インク入 二十圓
三百番 舶來萬年ペン、舶來状袋用箋函入 十五圓
五百番 製圖用コンパス並に萬年筆 十三圓
八百番 舶來繪具三十色武力箱入並スケッチ十冊 十二圓
一千番 山水彫刻大形硯石、奈良銘墨付 十圓
千二百番 丸善インク廿四オンス入一打 七圓五十錢
千五百番 防水用雜袋、校用カバン水筒 五圓
千八百番 舶來四ビー鉛筆一哥レターファイル（舶來状挾）卷繪硯箱 四圓
二千番 三圓五十錢
福袋品目
舶來萬年ペン文具箱、繪具類ランギペン、和洋帖簿類、鉛筆、和洋手帖、懐中硯、甲高硯箱、算盤、和洋狀袋、雜記帖、インク壺、肉池、墨壺、海綿、海綿入、水入、繪具皿、筆洗、開明墨、朱筆立、輕便筆筒、ポッケット用文具箱、雜囊、紙挾、クリップ、石筆、石筆、白墨、ラーフル、復寫簿、復寫紙、兩用ペン、状挾、コンパス、定規、文廻、舶來消ゴム、烏口、錐、小刀、兩用ナイフ、銀貨袋、白銅計、ブラシ、舶來ペン軸各種、吸取器、スタンプ台、卷紙外日用品數百種
外百數十點
◎總數二千袋
◎總額一千圓也
京城本町二丁目 日韓書房（電話一四七番）

廣告
一 槇製大角風呂 三人入り 數個
一 東京寄木細工物、塗物、一閑張類
但菓子器、卷煙草箱、硯箱、灰皿類
右は京城博覽會出品殘物にして今回同品に限りメチャノ＼大安賣致候に付品切にならざる中早く御買求下され度候
日用雜貨荒物卸問屋
京城南大門元保稅市場
大谷支店
（電話三四六番）

歯科診療
漢城病院を辭して開業す
前東京醫科大學勤務 統監府囑托 飯塚徹
東京北立歯科醫學校講師たりし
仁川分診所主任として 藤井庄次郎氏を聘す
京城診療所 南山町三丁目第一銀行横五軒目
仁川分診所 仁川病院前の角 毎五、十日出張
診療時間 午前八時より午後四時迄 夜間七時より八時迄 毎五、十日京城新來休診

營業科目
活版活字鑄造
石版銅版
木版彫刻
コロタイプ版
寫眞版
諸帳簿
製本裝釘
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ候記ノ際ニ新委託成仕候間ノ御引立御依頼申上候尚倍舊ノ御愛顧ヲ程奉願上候也
日韓印刷株式會社
本社 京城明治町三丁目 電話（三二三番）
東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋（三九六二番）

英米煙草會社紙製
パイレート
オールド
ピーロー
ハーロー
サイクル
バムブー印
BAMBOO
CIGARETTES
10 CIGARETTES WITH MOUTHPIECES
BRITISH CIGARETTE CO. LTD.
ドラムヘッド
ルーラー
滿月
ピンヘッド
リング
京城 佐野商店 林田商店 梶原商店 藤富商店
仁川 南力商店 山口商店 藤岡商店 松平商店 加來商店
平壤 齋藤商店
釜山 高瀨支店 内山商店 谷商店 萩野商店 淡盛商會
元山 木平商店 高瀨支店
群山 横山商店
木浦 高瀨支店 藤森商店 丸岡商店
鎭南浦 齋藤支店 秋田商會支店
安東縣 齋藤洋行 秋田商會支店
韓國總代理店 仁川倉知商會 電話三一二〇三番

消化新劑 タカヂアスターゼ
本劑は工學博士藥學博士高峰讓吉氏の發見に係る澱粉消化新藥なり
我醫學諸大家が治療上に於ける本劑の効果に就き發表せられたる實驗報告を集録せる「タカヂアスターゼ實驗報告集」醫家の要求に從ひ無代郵送す
本劑は粉末錠劑各大小容器入として各地藥舗に販賣す
類似品あり必ず高峯氏タカヂアスターゼと御指定を乞ふ

滋養新劑 グリコナール錠
本劑は醫學博士北里柴三郎氏指導の下に佐伯矩氏が牡蠣の滋養成分に就き研究の結果創製せるものなり本劑は滋養劑として肺病及一般衰弱者に必適なるのみならず自ら心臟を强め盜汗を制止し速かに體力を恢復し元氣を旺盛ならしむる特異の功能ある事を多數の醫學者に證明せられたり
（本劑の説明書は御申越に從ひ呈送す）
東洋發賣元 東京 三共藥品合資會社
韓國一手卸元 仁川 倉知商會 電話一一三番
京城 近藤賓生堂 古城賛化堂 新井藥房支店 仁川 北島藥店 新井藥店 松尾藥店
其他到る處の藥店にて錠劑粉末何れも販賣仕候